

昭和興産タイランド



山田和彦社長

昭和興産タイランド(山田和彦社長)は化学品や合成樹脂、家電、エレクトロニクス関連、食品分野などで幅広い商材を取り扱っている。本年度上半期(1~6月)の事業環境は半導体や原材料の不足、ウクライナ問題、中国・上海のロックダウンの影響を受けたものの、食品やエレクトロニクス関連が収益を支え、計画を上回る業績を見込んでいる。

食品、電子関連が収益貢献

食品分野でも外食ビジネスの回復が事業の追い風となっている。加えて、昨年代理店契約を結んだ日系企業の接着材料の販売も伸びており、通年の業績は計画値を上回るペースで推移している。

昭和興産は2023年度を最終とする3カ年中期経営計画「SKICHEALLENGE」に取り組んでおり、タイ法人は19年比20%超の上乗せが業績目標。ベトナム、インドネシアといった伸長が望めるASEAN地域の各拠点との連携によるビジネス拡大「優良なタイ現地企業との取引開拓および深耕」「EV、メティカル、5G関連など成長産業での新規ビジネス創出」という戦略を設定し、すでに昨年中に成約案件があったほか、成約間近な案件もあり、目標達成に向けて着実に前進している。

駐在員事務所を置くベトナムを含め、現地密着型のビジネスを展開し、周辺国でも商機を探る。ベトナム、インド、中東からの商品仕入れを積極的に進めており、他拠点への展開も支援していく。